

令和5年度の重点取り組み予定・計画

中央図書館(全体に関わること含む)

| R4年度 | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|--|--|------------|
| | 取組内容 | | 進捗状況 | 改善すべき点(課題) | 完了/継続 |
| 全体 | 1 自動車文庫の巡回先見直し | 着手 | 数か月、利用者のない場所の洗い出しを行った。 | 3か月ごとに巡回先の見直しを調整を行っているが、見直しには至っていない。 | 継続 |
| | 2 映像資料の発掘・保存 | 着手 | 地域おこし協力隊の協力を得て、校歌の収集の準備が整った | 昔のくらしぶりや地域の様子、歌などの高齢者からの聞き取り・収集が急がれる。 | 継続 |
| | 3 市民のアイデアを一緒に実現する | 着手 | 図書館みらい計画の「5つの行動の柱」の基本方針とあわせて、全館で実施していく | R3年度、図書館そだて会議で出されたアイデアの精査。アイデアの出っぱなし、聞きっぱなしにしないようにすめること。 | 継続 |
| 中央 | 1 サポーターズやボランティアの活動がゆるく長く続くような仕組みづくり | 着手 | R3年度図書館そだて会議で、サポーターズや各図書館のボランティアの方々の活動を紹介し合うポスターセッションを企画したが、コロナの感染拡大防止のためポスターの掲示のみとなった。R4年度は実施せず。 | プロジェクト(図書館ラッピングなど)を行う場合、具体的に手伝ってもらいたいことをお願いすると、手を貸してくださる方が多いことが分かった。 | 継続 |
| | 2 対面朗読室の有効活用 | 着手 | ティーンズコーナー(10代の人の居場所)として活用するにあたって、試行として、特別イベントコーナーとして活用した(「まっくら図書館」、「自由に使って、つく展」など)。 | カウンターから離れた小部屋であるため、ティーンズコーナー(10代の人の居場所)として固定化するには安全面で課題がのこる。 | 継続 |
| 全体 | 1 「課題・取組シート」の作成 | 着手 | 「課題・取組シート」の内容を再検討した。 | 令和5年度からは、みらい計画で示す5つの行動の柱に添った計画を立て、その計画に対して、中間及び年度末報告を行う形に変えていく予定 | 完了(別の形で継続) |
| | 2 図書館長会議の開催 | 着手 | 年4回開催した(6/24、8/18、10/27、2/24) | 館長会のあり方の見直しを図り、マネジメントサイクルを作り、開催回数を絞ることとした。(年3回) | 完了 |
| | 3 広報 | 着手 | より多くの人に来館してもらえよう、ターゲットにあわせた広報を実施した。 | 公式LINEの開設など、SNSを活用し、タイムリーな情報を発信できるようになった。 | 完了 |
| | 4 図書館だより7館合冊版の発行 | 着手 | ・R4.7月の担当者会で、西川館長より「伝わるお便り」にするためのレクチャーあり。図書館だより合冊版を作成し、館内での配布を実施した。 ・R5.2月から、図書館名を全館で同じフォント(ZenMaruGothic-Medium)に統一した。 | | 完了 |
| | 5 学校図書館の電算化 | 着手 | ・26校全校の蔵書データベース化完了 ・R5年度市立図書館のシステム入替のタイミングで学校図書館の蔵書管理システムを導入する。 | | 完了 |
| | 6 「まち並み図書館」の再構築 | 着手 | 当初の目的を果たしていない所が多くなってしまったため、新たな形として「まちなみ図書館」のロゴ入りの面展台を制作。今後、イベントごとに面展台を店舗に設置してもらい図書館の蔵書や店主のおすすめ本の展示などの企画を行う。 | | 完了 |
| 中央 | 1 郷土資料室の活用 | 着手 | 勝山振興局の展示を移設して行うなど、活用につとめた。「日本酒文庫」を「真庭の発酵文化」コーナーとして拡大し、発酵関連のイベントで活用した。郷土資料室内の真庭市資料の整理を行う。 | 地区別に色分けをしたラベルを貼付し、利用者も職員も、資料を探しやすくなった | 完了 |
| | 2 館内スペースの有効活用 | 着手 | 正面口前のスペース、飲食スペース、2階テラス、3階会議室等、中央図書館の各スペースにおける活用のルールを作り、夜のイベント等を開催するなど、利用しやすい環境を整備した。 | | 完了 |
| | 3 2階「おはなしの部屋」の有効活用について | 着手 | 活用方法を検討し、特別イベントコーナーとして活用(「図書館ラジオ」の放送スタジオなど)した。 | | 完了 |

| 柱 | R5年度の重点取り組み予定・計画 (【そ】図書館そだて会議、【協】図書館協議会での意見・アイデア) | 進捗状況 (年度途中) | 年度末まとめ (やってみてどうだったか、来年度以降どうしていくか) | 完了/継続 |
|---|--|----------------|--------------------------------------|-------|
| 1 | 行動の柱1：公共図書館としての存立基盤の整備 ☆新規 図書館ホームページを分かり易く、編集しやすくする 市民が図書館の役割や使い方を知り、使いこなし、自分のものと感じられるようなプログラム(司書のお仕事体験)の実施。 ■継続 ブックるんまにわ巡回先の定期的な見直し。巡回目的の見直しを含む。【そ】 | | | |
| 2 | 行動の柱2：子どもの学びへの能動的な貢献(子どもの読書活動推進) ☆新規 「対面朗読室」を手作り部屋・メイカースペースとして開放 ☆新規 図書館職員による乳幼児向けのおはなし会の実施【そ】 ☆新規 勝山高校や勝山中学校の図書委員会と一緒にティーンズコーナーの運営を行うことを検討【協】 | | | |
| 3 | 行動の柱3：地域資源の再評価と新たな価値の創出 ■継続 「真庭市立図書館附属みんなの校歌研究室」の活動 ☆新規 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」と判例データベースの利用促進 岡山県立博物館との協働事業 | | | |
| 4 | 行動の柱4：知的探究に応えるコンテンツ戦略 ☆新規 市内で学ぶ「学生」(通信教育などで学ぶ人々)を応援する取り組みを行う【そ】 放送大学岡山学習センターとの連携事業 | | | |
| 5 | 行動の柱5：市民が繋がる地域交流拠点創出 ■継続 市民や団体、事業所、会社などつながって一緒に図書館イベントやプログラムを開催【そ】 ☆新規 飲食スペースでのカフェ出店検討【そ】 ☆新規 飲食スペースで定期的に「ゲーム(カードゲームやボードゲーム)研究会」(仮)を実施 中央図書館開館5周年記念イベントの開催 | | | |